# Microsoft O365を使用したEメール暗号化アドインの設定

## 内容

はじめに

前提条件

要件

使用するコンポーネント

#### 背景説明

<u>Cisco Secure Email Encryption Serviceアドインの導入に関するベストプラクティス</u>

#### 設定

<u>Cisco Secure Email Encryption Serviceアドインアプリケーション登録</u>

<u>Cisco Secure Email Encryption(CRES)管理ポータルでのドメインとアドインの設定</u>

Microsoft 365にマニフェストファイルをアップロードしてEメール暗号化サービスアドインを展

#### <u>確認</u>

<u>トラブルシュート</u>

リレーション情報

## はじめに

このドキュメントでは、Microsoft Office 365を介してCisco Eメール暗号化サービスアドインの集中型導入を設定する方法について説明します。

## 前提条件

#### 要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- CiscoセキュアEメールゲートウェイ
- Cisco Secure Email Encryption Service (旧称Cisco Registered Envelope Service)
- Microsoft O365スイート(Exchange、Entra ID、Outlook)

#### 使用するコンポーネント

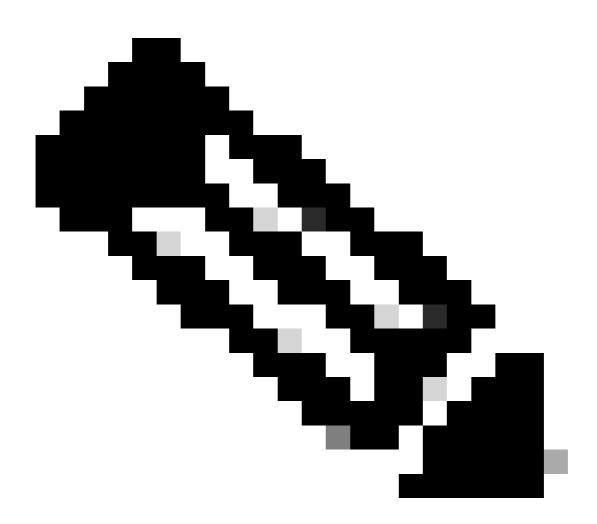
このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- Cisco Eメール暗号化アドイン10.0.0
- Microsoft Exchange Online
- Microsoft Entra ID (以前のAzure AD)
- Outlook for O365 (macOS, Windows)

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな(デフォルト)設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

## 背景説明

Cisco Secure Email Encryption Serviceアドインを使用すると、エンドユーザはワンクリックで Microsoft Outlookから直接メッセージを暗号化できます。このアドインは、Microsoft Outlook(WindowsおよびmacOS用)およびOutlook Web Appに展開できます。



注:このドキュメントは、アドインを使用するOffice 365/Microsoft 365サブスクリプションを使用する予定のすべてのエンドユーザに適しており、アドインを使用する予定のすべてのエンドユーザは登録Cisco Secure Email Encryption Service(CES)ユーザです。

Cisco Secure Email Encryption Serviceアドインの導入に関する

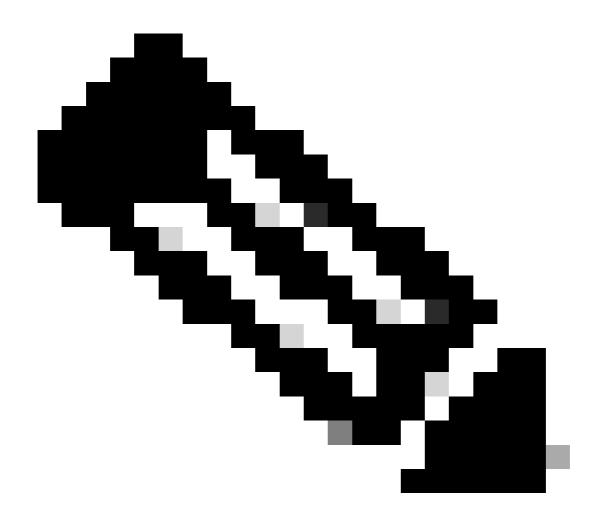
## ベストプラクティス

- テストフェーズ:部門または部門内の少数のエンドユーザにアドインを導入します。結果を 評価し、成功したら次の段階に進みます。
- パイロットフェーズ: さまざまな部門や部門のエンドユーザにアドインを導入します。結果 を評価し、成功したら次の段階に進みます。
- 実稼働フェーズ:すべてのユーザにアドインを導入します。

## 設定

Cisco Secure Email Encryption Serviceアドインアプリケーション登録

- 1. 少なくとも1人のクラウドアプリケーション管理者(<u>Microsoft 365 Admin Center</u>)として Microsoft 365 Admin Centerにログインします。
- 2. 左側のメニューで展開Admin Centersし、「Identity」をクリックします。
- 3. に移動して選択Identity > Applications > App registrationsします New registration.



注:複数のテナントにアクセスできる場合は、右上のメニューにある設定アイコンを使用して、アプリケーションを登録するテナントに[ディレクトリ+サブスクリプション]メニューから切り替えます。

4. アプリケーションの「表示名」を入力し、アプリケーションを使用できるアカウントを選択して、「Register」をクリックします。

## Register an application

\* Name

The user-facing display name for this application (this can be changed later).
Cisco Secure Email Encryption Add-in 1
Supported account types
Who can use this application or access this API?
Accounts in this organizational directory only ( Single tenant)
Accounts in any organizational directory (Any Microsoft Entra ID tenant - Multitenant)
Accounts in any organizational directory (Any Microsoft Entra ID tenant - Multitenant) and personal Microsoft accounts (e.g. Skype, Xbox)
Personal Microsoft accounts only
Help me choose
Redirect URI (optional)
We'll return the authentication response to this URI after successfully authenticating the user. Providing this now is optional and it can be changed later, but a value is required for most authentication scenarios.

e.g. https://example.com/auth

Register an app you're working on here. Integrate gallery apps and other apps from outside your organization by adding from Enterprise applications.

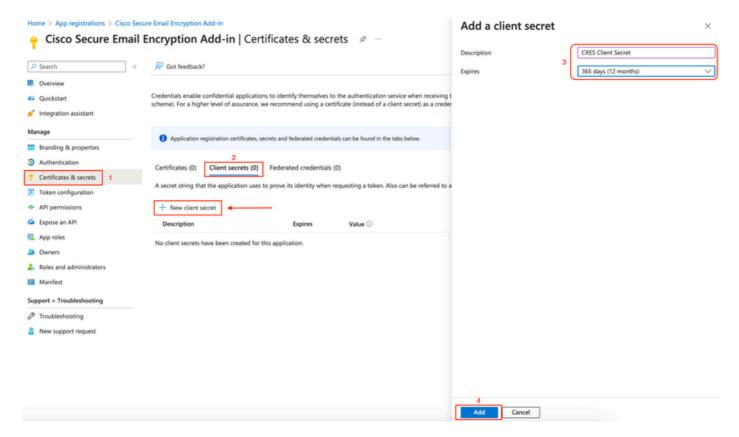
By proceeding, you agree to the Microsoft Platform Policies 🗃



Select a platform

アプリケーションの登録

5. 登録が成功したら、Certificates & Secretsでクライアントシークレットを設定するアプリケーションに移動します。組織の法規制 に従って有効期限を選択します。

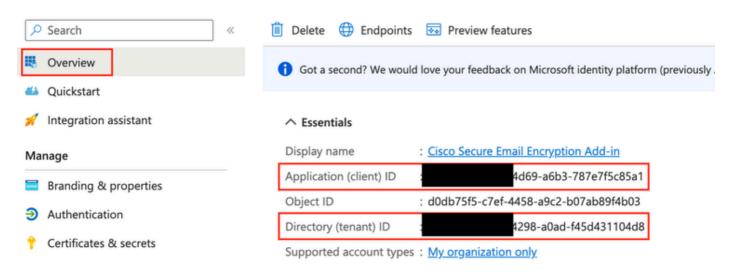


クライアントシークレットの設定

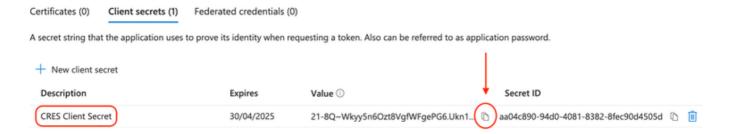
6. 登録アプリケーションの概要ページから、Application (client) ID およびDirectory (tenant) IDをコピーします。前の手順で生成した証明書およびシークレットからClient Secret をコピーします。

#### Home > App registrations >





Enter IDアプリケーションの概要



#### クライアントシークレットのコピー

7. 登録済みEメール暗号化アプリケーションに移動し、API permissionsに進みます。Add a permissionをクリックし、必要な Microsoft Graphアプリケーション権限を選択します。

- メール。読み取り
- メール。読み取り/書き込み
- メール送信
- ユーザー。読み取り。すべて

## Request API permissions

#### All APIs



Microsoft Graph

https://graph.microsoft.com/ Docs 🚰

What type of permissions does your application require?

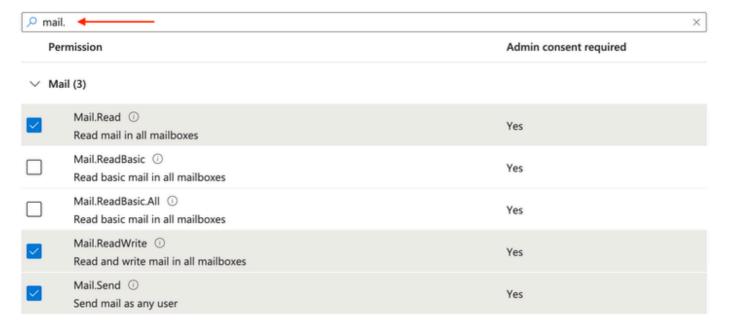
Delegated permissions

Your application needs to access the API as the signed-in user.

Application permissions

Your application runs as a background service or daemon without a signed-in user.

Select permissions expand all





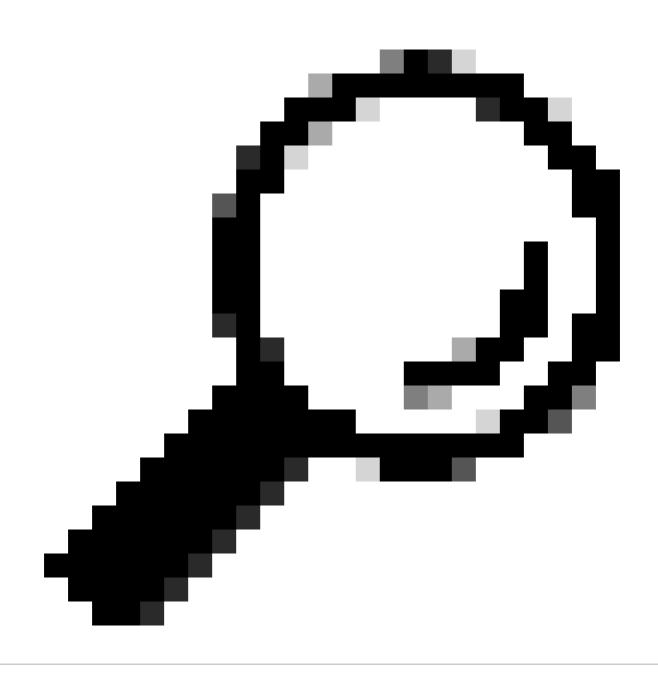
Microsoft Graph権限の設定

7. 「Grant Admin Consent for <tenant-name>」をクリックして、組織に代わってアプリケーションに権限を付与します。

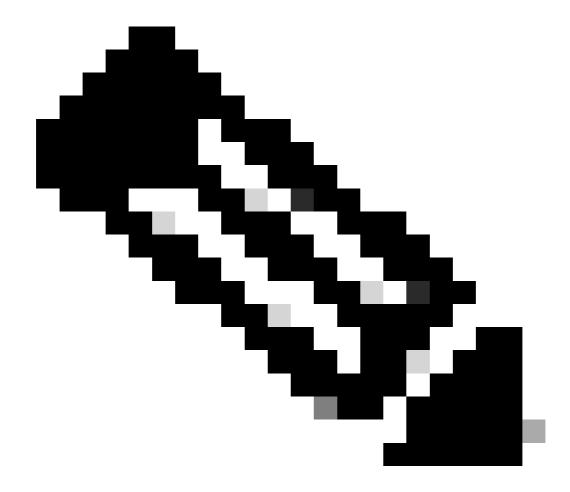
API / Permissions name	Type	Description	Admin consent requ Status		
✓ Microsoft Graph (4)					
Mail.Read	Application	Read mail in all mailboxes	Yes	✓ Granted for	
Mail.ReadWrite	Application	Read and write mail in all mailboxes	Yes	✓ Granted for	
Mail.Send	Application	Send mail as any user	Yes	✓ Granted for	
User.Read.All	Application	Read all users' full profiles	Yes	✓ Granted for	

#### Cisco Secure Email Encryption(CRES)管理ポータルでのドメインとアドインの設定

- 1. アカウント管理者としてCisco Secure Email Encryption Service(CRES)管理ポータルにログインします。(https://res.cisco.com/admin)
- 2. Accounts > Manage Accountsに移動します。組織に割り当てられているアカウント番号、または電子メール暗号化アドインを構成する予定のアカウントをクリックします。
- 3. に移動しProfiles、「ドメイン」として名前タイプを選択し、「値」の下に電子メール・ドメイン名を入力します。クリック Add Entries して5 ~ 10秒間待ちます。(ブラウザのページを更新したり、正常に追加されるまで別のページに移動したりしないでください)。



ヒント:同じ手順を繰り返して、組織でEメール暗号化サービスを使用する他のEメールドメインを追加します。



い合わせください。

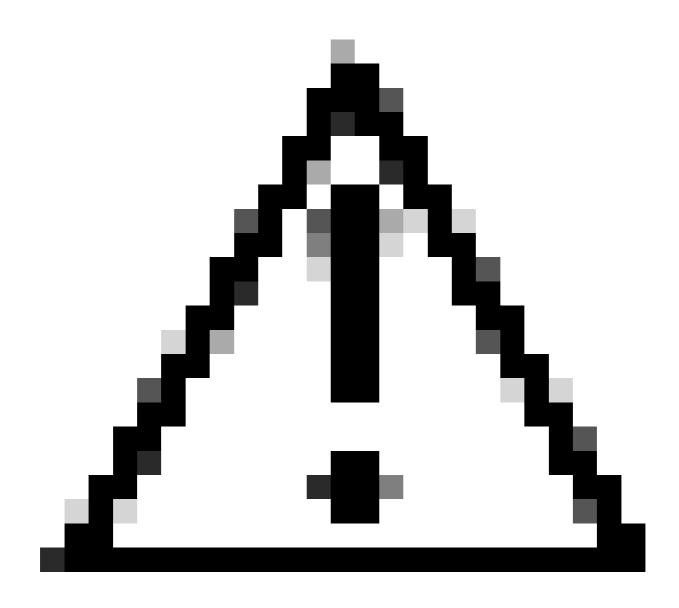


CRES管理ポータルプロファイル

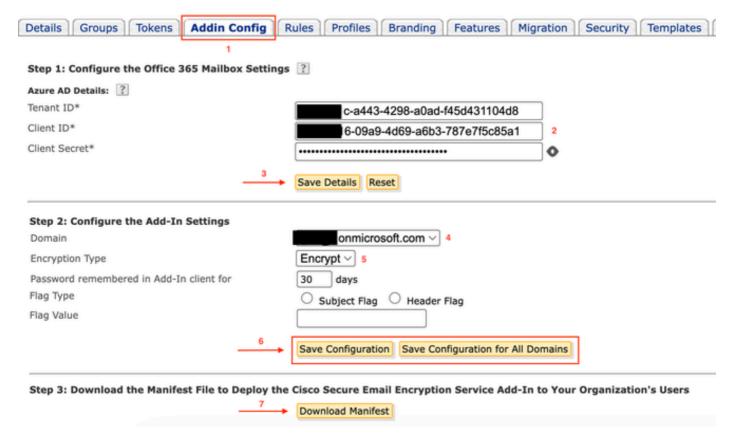
4.Add-in Configタブに移動します。

ステップ1: Azure ADの詳細の下のEntra IDから取得したテナント、クライアントID、およびシークレットを入力します。をクリックします。Save Details

ステップ2:ドメインと暗号化タイプを選択し、Save Configurationをクリックします。追加したすべてのドメインに同じ設定を適用するには、すべてのドメインでSave Configurationを使用します。



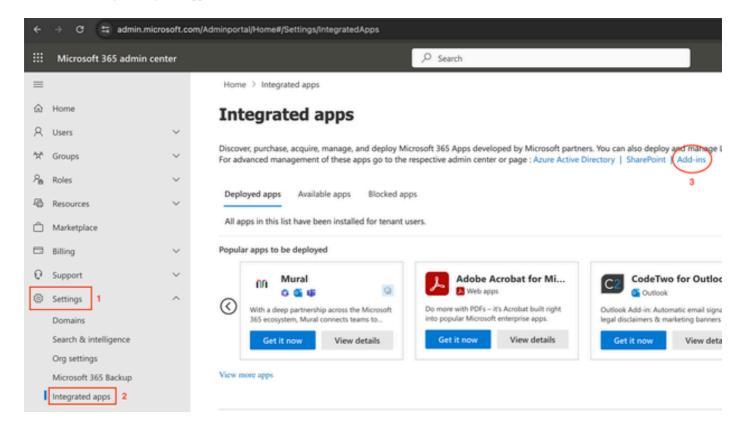
注意:ステップ1.とステップ2.を同時に完了せずに別のページに移動しないでください。ステップ2.が同時に完了しない場合、Azure ADの詳細は保存されません。



CRES管理ポータルアドインの構成

Microsoft 365にマニフェストファイルをアップロードしてEメール暗号化サービスアドインを展開

- 1. Microsoft 365 Admin Centerに管理者としてログインします。(Microsoft 365管理センター)。
- 2. に移動しSettings > Integrated apps て、[アドイン]をクリックします。



- 3. をクリックDeploy Add-inし、Upload Custom Appsを選択します。前の手順I have the manifest file (.xml) on this deviceでCisco Email Encryption Service(ESA)管理ポータルからダウンロードしたファイルを選択し、アップロードします。をクリックします。Upload
- 4. 次の手順で、Cisco Secure Email Encryption Serviceへのアクセスが必要なユーザを割り当てます。段階的に導入する場合は、を選 択Specifc Users/groupsし、をクリックDeployします。

## Configure add-in



## Cisco Secure Email Encryption Service

Choose which users will have access to Cisco Secure Email Encryption Service

Everyone Specific users / groups Search for specific users or groups to add or remove Start typing a name to search for users Just me

#### Deployment Method

Fixed (Default)

The add-in will be automatically deployed to the assigned users and they will not be able to remove it from their ribbon.

Available

Users may install this add-in by clicking the Get More add-ins button on the home ribbon in Outlook and going to Admin-managed.

The add-in will be automatically deployed to the assigned users but they can choose to remove it from their ribbon.



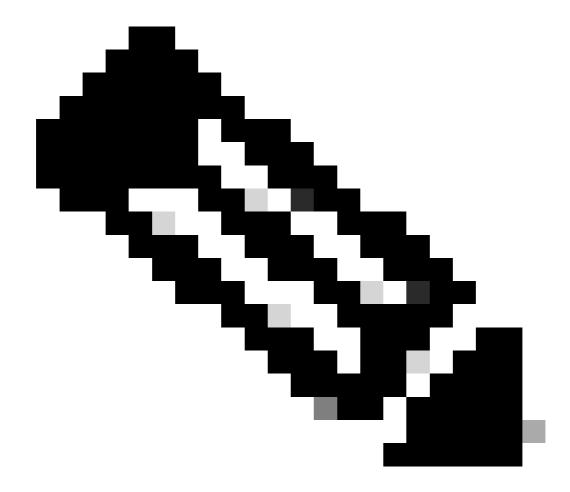
Microsoft O365アドイン設定

合があります。

#### 確認

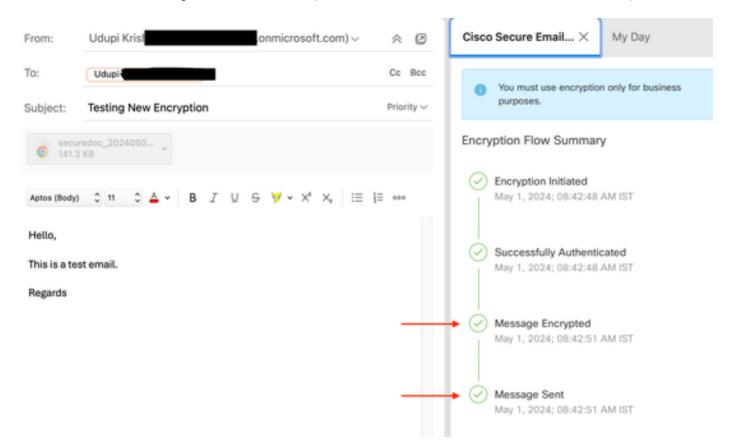
ここでは、設定が正常に機能しているかどうかを確認します。

1. Outlook for Office 365/Microsoft 365またはOutlook Web Appを起動し、暗号化するメッセージを作成し、有効な受信者を少なくとも1人追加します。



注:暗号化の種類(管理者が設定)が[暗号化]の場合は、次の手順に進む前に、メッセージが完了し、有効な受信者が 追加されていることを確認してください。ステップ3の後、メッセージは暗号化され、すぐに送信されます。

- 2. Cisco Secure Email Encryption Serviceアドインを開いてクリックします。
  - Outlook Web Appで、([送信]ボタンと[破棄]ボタンの近くにある)省略記号アイコンをクリックし、[Cisco Secure Email Encryption Service]をクリックします。
  - Outlook for WindowsまたはMacOSで、リボンまたはツールバーの[暗号化]をクリックします。
  - MacOSバージョン16.42以降のOutlookで新しいOutlookインターフェイスを使用している場合は、ツールバーの[Cisco Secure Email Encryption Service]をクリックします。
- 3. クレデンシャルを入力し、Sign inをクリックします。(暗号化タイプがフラグの場合のみ、Sendをクリックします)。



Microsoft Outlook暗号化の状態

#### トラブルシュート

現在、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。

リレーション情報

- <u>Cisco Secure Email Encryptionサービスアカウント管理者ユーザガイド</u>
- <u>Cisco Secure Email Encryptionサービスアドインユーザガイド</u>
- <u>Microsoft Entraアプリケーション登録ガイド</u>
- シスコのテクニカルサポートとダウンロード

### 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版(リンクからアクセス可能)もあわせて参照することを推奨します。